

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 2 区分

【発行日】令和 1 年 6 月 13 日 (2019.6.13)

【公開番号】特開 2019-42546 (P2019-42546A)

【公開日】平成 31 年 3 月 22 日 (2019.3.22)

【年通号数】公開・登録公報 2019-011

【出願番号】特願 2018-231353 (P2018-231353)

【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 2 6 Z

A 6 3 F 7/02 3 0 4 D

【手続補正書】

【提出日】平成 31 年 4 月 27 日 (2019.4.27)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

発光可能な発光手段と、

その発光手段の輝度を第 1 の輝度と、その第 1 の輝度よりも暗い第 2 の輝度と、に少なくとも可変させることが可能な輝度可変手段と、

動作可能な複数の動作部材と、

電源投入に基づいて前記複数の動作部材が予め定められた動作である投入動作を行うように制御する動作制御手段と、を備え、

前記発光手段は、少なくとも前記投入動作が開始されてから終了するまでの間、前記第 2 の輝度となるものであり、

前記輝度可変手段は、前記投入動作が終了したことに基づいて、前記発光手段の輝度を前記第 1 の輝度に可変させることが可能に構成されていることを特徴とする遊技機。

【請求項 2】

所定の遊技媒体を用いて遊技可能に構成されていることを特徴とする請求項 1 記載の遊技機。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 2

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 2】

パチンコ機等の遊技機において、モータ等で動作する動作部材を構成に含むものがある。かかる遊技機の中には、複数の動作部材を動作させることによって、多種多様な演出動作を実行することができるものがある。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 4

【補正方法】変更

【補正の内容】

【 0 0 0 4 】

しかしながら、上述した従来の遊技機では、好適に動作部材を動作させることが困難となる虞があった。

【 手続補正 4 】

【 補正対象書類名 】 明細書

【 補正対象項目名 】 0 0 0 5

【 補正方法 】 変更

【 補正の内容 】

【 0 0 0 5 】

本発明は、上記例示した問題点等を解決するためになされたものであり、動作部材を好適に動作させることができる遊技機を提供することを目的とする。

【 手続補正 5 】

【 補正対象書類名 】 明細書

【 補正対象項目名 】 0 0 0 6

【 補正方法 】 変更

【 補正の内容 】

【 0 0 0 6 】

この目的を達成するために請求項 1 記載の遊技機は、発光可能な発光手段と、その発光手段の輝度を第 1 の輝度と、その第 1 の輝度よりも暗い第 2 の輝度と、に少なくとも可変させることが可能な輝度可変手段と、動作可能な複数の動作部材と、電源投入に基づいて前記複数の動作部材が予め定められた動作である投入動作を行うように制御する動作制御手段と、を備え、前記発光手段は、少なくとも前記投入動作が開始されてから終了するまでの間、前記第 2 の輝度となるものであり、前記輝度可変手段は、前記投入動作が終了したことに基づいて、前記発光手段の輝度を前記第 1 の輝度に可変させることが可能に構成されている。

【 手続補正 6 】

【 補正対象書類名 】 明細書

【 補正対象項目名 】 0 0 0 7

【 補正方法 】 変更

【 補正の内容 】

【 0 0 0 7 】

請求項 2 記載の遊技機は、請求項 1 記載の遊技機において、所定の遊技媒体を用いて遊技可能に構成されている。

【 手続補正 7 】

【 補正対象書類名 】 明細書

【 補正対象項目名 】 0 0 0 9

【 補正方法 】 変更

【 補正の内容 】

【 0 0 0 9 】

本発明の遊技機によれば、発光可能な発光手段と、その発光手段の輝度を第 1 の輝度と、その第 1 の輝度よりも暗い第 2 の輝度と、に少なくとも可変させることが可能な輝度可変手段と、動作可能な複数の動作部材と、電源投入に基づいて前記複数の動作部材が予め定められた動作である投入動作を行うように制御する動作制御手段と、を備え、前記発光手段は、少なくとも前記投入動作が開始されてから終了するまでの間、前記第 2 の輝度となるものであり、前記輝度可変手段は、前記投入動作が終了したことに基づいて、前記発光手段の輝度を前記第 1 の輝度に可変させることが可能に構成されている。

【 手続補正 8 】

【 補正対象書類名 】 明細書

【 補正対象項目名 】 0 0 1 0

【 補正方法 】 変更

【補正の内容】

【0010】

これにより、動作部材を好適に動作させることができるという効果がある。

【手続補正9】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】1237

【補正方法】変更

【補正の内容】

【1237】

10	パチンコ機（遊技機）
29～33	電飾部（作動手段の一部、電飾部材）
81	第3図柄表示装置（表示手段）
221	M P U（作動制御データ設定手段の一部、電飾制御手段）
230	L C D用バックライト（作動手段の一部、バックライト）
231	M P U（作動制御データ設定手段の一部、バックライト制御手段）
410	<u>起立役物（動作部材の一部）</u>
510	<u>傾倒役物（動作部材の一部）</u>
520	<u>回動役物（動作部材の一部）</u>
710	<u>左側揺動役物（動作部材の一部）</u>
720	<u>中央揺動役物（動作部材の一部）</u>
730	<u>右側揺動役物（動作部材の一部）</u>
810	<u>右側スライド役物（動作部材の一部）</u>
820	<u>左側スライド役物（動作部材の一部）</u>
830	<u>上側スライド役物（動作部材の一部）</u>
840	<u>下側スライド役物（動作部材の一部）</u>
S1121	<u>輝度可変手段</u>
S1421	<u>動作制御手段</u>
S3706	<u>輝度可変手段</u>